

青少年問題協議会会議録（要旨）

日 時 平成22年11月12日(金)

午前10時から

場 所 市役所 6階 602会議室

松本市長（青少年問題協議会会長）挨拶

議 題

1 平成22年度青少年健全育成関連事業上半期事業報告（資料1）

（スポーツ青少年課長、産業支援課長補佐、こども福祉課長、生涯学習課長補佐から報告）

青少年問題協議会委員 承認

2 平成23年度青少年健全育成重点目標（案）について（資料2）

スポーツ青少年課長から説明

青少年問題協議会委員 承認

3 平成22年度青少年健全育成標語の選定について（資料3）

青少年問題協議会幹事長（斎藤委員）からの審査結果報告

今年は標語の応募点数は1890点であり、昨年は1705点。

今年のテーマは「感謝」（ありがとうございますか？親や家族や友だちに・・・）としたところ、同じような標語がたくさん応募された。1890点の中から10点選ぶのは大変難しい状況であった。最終的に12点を選ばせていただいた。

子どもたちが一生懸命応募してくてくれた作品である。昨年の幹事会では、選出が大変であるという理由から①学校の中で選出してもらう、②一人一点までとする、などの意見もあった。しかし、子どもたちが今、何を考えているのかを知る必要があるのではないということから、点数の制限は設けず実施し、応募作品も全作品を見て選出した。また、今年は和光高校の生徒さんからの応募もあった。

標語については昨年よりも応募点数は増えている。

ポスターについては、テーマがスマイルシティ・和光！「みんなにありがとうございますか？」だった。

ポスターについては、56点応募、うち入選12点。

12月11日に入選作品に対する表彰式、および展示をする。

このような応募についても学校の先生方のご努力があってこそであり、学校にはい

ろいろな依頼がきている中、ご理解、ご協力いただいている。

委員 標語、ポスターに関して応募がなかった学校は何か理由があるのか？

委員 学校にはいろいろなところから、たくさんの応募の依頼がきており、全てに応募することは限られた時間の中で大変難しく、取捨選択をせざるを得ない状況である。その結果、標語やポスターに対する応募がない学校もあった、という状況状況である。作文は全校で取り組んでいる。

委員 応募に関する情報は子どもたちに伝わっているのか。

委員 伝わっている。

青少年問題協議会委員 承認

4 平成22年度青少年健全育成作文結果について（資料4）

スポーツ青少年課長から報告

青少年問題協議会委員 承認

5 その他

- ・朝霞警察署生活安全課 課長 野口様 から管内の状況報告について（報告）
 - ・少年問題はあとをたたない。自転車の盗み、万引きはいつも多い。
万引き対策や自転車盗難対策に対し、ご協力いただきたい。
 - ・インターネットについての有害情報はアダルトサイトだけではない。
携帯サイトなど、援助交際やいじめ、暴力につながるものもある。
このような知識も必要である。これらは誰でも取り込むことが出来、規制が難しい。
 - ・和光市で振り込めさぎの被害にあう人が多い。被害額が高い。昨年よりも件数が上
回りそうである。被害にあわないようにみんなに伝えてほしい。
- ・学校からの状況報告について（報告）
 - ・教科書もこれから新しくなり、学力向上がより一層求められている。家庭での
学習についても学校は保護者としてしっかり連携して取り組まなければならなくなっ
た。
 - ・青少年健全育成標語・ポスター・作文の応募については、作文は全校取り組んで
いる。標語やポスターの応募については、いろいろなところから依頼がきて、決め
られた時間内で応募を全てすることは大変である。授業も5日制の中で消化が
難しい。学校の新しい経営が求められている。

会長 その他何かございますか。

委員 家庭がまず基本であると思う。問題を起こす子どもの背景が問題。

子どもの周りを調整する必要があるのではないか。愛着形成が作れていない。

外国でも親自身の愛着の取り戻しが始まっている。

また、孤立している親子の家庭をどうにかしなくてはいけないのではないか。

終了

出席者 松本、栗原、須貝、山崎、野口、木田、小野、戸部、柿崎、榎本、中村、富澤（美）
中島、藤村、小結、斎藤、小林、堀内、畠山、神杉、浦郷

欠席者 森田、大久保、大谷、本橋（良）、川曲、村山、本橋（淳）、加山、山田、富澤（甚）
鳥飼

事務局 富澤課長、喜古課長補佐、結城、萩原

こども福祉課長、産業支援課長補佐、生涯学習課長補佐

傍聴者 なし